

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 9 月 21 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103007		
法人名	株式会社 ビー・スマイル		
事業所名	グループホームケアセンター宇品 2～4ユニット		
所在地	広島市南区宇品神田2丁目9-4		
自己評価作成日	平成27年7月27日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103007-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470103007-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年9月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

1 個別ケア重視による可能性、能力の活性化（関わりの重要性）
2 安全、安心第一（看護師配置により医療連携の円滑化）
3 サービスの質の向上のためスタッフ教育
4 従業員にとって働きやすい環境条件（定年後の継続雇用とリフレッシュ休暇の推奨）

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は閑静な住宅街に位置し、公共交通機関を利用した訪問も可能で利便性に富んでいる。また、屋上には農園や花壇があり、四季折々の花や野菜の栽培を楽しみながら、市内を一望できる環境下にある。事業所の特性として①個別ケアを重視し、利用者一人ひとりの笑顔や活力のある暮らしを大切に、可能性や出来る事の継続支援に全職員一丸となって取り組んでいる。②職員は3ユニット合同で「スタッフ塾」を月に1回開催し（テーマの設定・進行は職員全員が持ち回りで担当）相互研鑽に励んでいる。また、職員が互いに協力し合い、資格取得など知識・能力のスキルアップに励んでいる。③「子供110当番」や「災害の避難場所」として、さらに、1階のホールを地域住民や子供達が気軽に立ち寄れる場として開放し、地域との繋がりを深めている。職員は明るく笑顔で利用者に接している様子が伺えた。
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	・各ユニットに掲示、スタッフ勉強会や運営会議で確認、唱和している。 ・理念、実践重点項目を実践し易く具体化し月間目標として提示している。ご家族へのお便りでも周知、また運営会議にて取り上げ毎月の目標評価し達成度を出している。	経営理念を基に、事業所の年間行動目標を掲げ、その実践に向け、ユニット毎に月間目標を職員で話し合っ作成し、掲示や定例会で唱和する等、職員全員で共有し、日々の実践に繋げている。また、目標の進捗状況・達成度を評価し、次月に繋ぐようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	・町内会の行事、お祭り、餅つき、子供110番、小学生のボランティア、ちびっ子ランドの慰問等に関わっている。 ・町内会議に随時参加し、災害時の避難場所として提供させて頂く等、友好的に交流している。	開所当時から地域との関係づくりに取り組まれたことにより、町内会長や地域住民の理解や信頼を得ており、町内会議にも参加している。町内会行事への参加、保育園児との交流、事業所のホール（空きスペース）を誰もが集える場として提供する等、地域の一員として日常的に交流が図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	・運営推進会議等において、町内会長、老人会の役員、地域のグループホーム職員との情報交換をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	・参加メンバーの方に、日中の過ごし方やケア状況を知って頂ける様に「皆で出来る体操」や「工作」を見学して一緒に体験して頂き、その後の意見交換が出来る。	運営推進会議は定期的開催され、町内会長や近隣の住民、家族、地域包括支援センター職員等が出席している。利用者の状況やサービス内容についての報告、町内行事等の話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に役立っている。利用者との工作レクの体験や、日々の様子のDVDを鑑賞し、意見交換をする事もある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	・運営者が町内会役員会等に参加して、サービスの向上に取り組んでいる。 ・市の介護保険審査会に参加している。	地域包括支援センターの職員には、運営推進会議に出席して頂き、指導や助言を得ている。また、地域の他事業所との情報交換も定期的開催されている。施設長が介護保険審査会の委員を継続して引き受ける等、市町の担当者とは協力関係が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子は移動の手段として使用し、椅子に座って頂いている。</li> <li>・外出願望のある方は、声掛けをし、散歩に出掛けたり他のフロアにお誘いして、気分を改善して頂くよう取り組んでいる。</li> <li>・身体拘束ゼロの意識は、全職員周知徹底し取り組んでいる。</li> </ul>	<p>「身体拘束をしないケアの実践」については、社内研修や社外研修にも参加する等、職員に十分周知徹底されている。また、日々のミーティングでお互いのケアを振り返り、常に職員間で点検・共有し、身体拘束をしないケアの実践に努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会に積極的に参加している。他職員にも書面や勉強会等で研修で学んだ事を伝達している。</li> <li>・勉強会等でも虐待について議題として取り上げ、普段の行動の見直しなどをし防止に努めている。</li> </ul>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度について、サポートセンターの説明、指示を頂いている。必要時に支援頂ける様に情報交換している。</li> </ul>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に十分な説明と理解が得られるように努めている。解約時にご家族と事前に面談し、十分な説明と今後についての相談、援助をしている。</li> <li>・改定時、文章を発送し、押印して頂いている。</li> </ul>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン説明時や面会時に、ご家族に意見要望をお聴きしている。「家族ノート」に記入し全職員に伝達し、意向をケアに反映させて頂いている。</li> </ul>	<p>利用者及び家族と職員の信頼関係を大切にし、何でも言える環境づくりに配慮が為されている。家族の来訪時に職員が写真や資料等を提示して、利用者の現況を詳細に伝え、家族の意見や希望を聞いている。それらを「家族ノート」に記録して職員間で共有し、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の定期面接、毎月開くリーダー会議や、必要に応じて個別に話し合い意見交換の機会を設けている。</li> <li>・年に2回の全体会議も行っている。</li> </ul>	<p>管理者は、日頃から職員の働きやすい環境作りに努めている。また、日常的にユニットリーダーから職員の意見や提案を聞き、運営に反映させている。職員の提案により、通勤のガソリン代が改善されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半年毎の目標評価面接、賞与、昇給への反映、個々の長所を伸ばすような声掛けに努めている。</li> <li>・就業規則の見直しもしている。</li> </ul>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内外研修に定期的、必要に応じスタッフを計画的に参加させている。学んだ事を勉強会で報告し、全スタッフのスキルアップにつなげている。</li> <li>・リーダー会議にて情報交換、意見交換しスキルアップに取り組んでいる。</li> <li>・施設内研修として、年1回新人、サブリーダー研修を实践している。</li> </ul>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区ケアネットの勉強会やグループホーム交流会等で、意見交換、情報交換に努めサービス向上に努めている。</li> <li>・運営推進会議に同地域のグループホーム職員を招いて交流、意見交換している。</li> </ul>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居前に直接、本人・家族に会って今までの暮らしぶりを知るように努めている。</li> <li>・不安事や要望等にも耳を傾け、なるべくご要望に添えるよう心掛けている。</li> <li>・本人の話を傾聴し、会話する事で信頼関係が築けるよう努めている。</li> <li>・ご入居後、当面は落ち着かれるまで、夜勤を2人体制にしている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご入居当初は、特に頻繁に面会に来て頂き、本人の心の安定に配慮して頂いている。</li> <li>・面会時に、情報を共有し、不安事や要望等をお聴きし、信頼関係を築くよう努めている。</li> </ul>		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントシートとバックグラウンドを、入居前後の面接で聞き取り、作成している。</li> <li>・本人、家族、スタッフで話し合い、最も必要と思われる支援を見極め、具体的に実践可能なサービスが出来る様努めている。</li> </ul>		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の得意な事や、今までの生活でされていた事等して頂いている。</li> <li>・得意な事等はやり方を教えて頂き、自信を持って頂ける様に努めている。</li> </ul>		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人と家族で外出したり、外への散歩に出掛けたり等、ご協力頂き、ご家族と共に過ごしている時間を大切にしている。</li> <li>・面会時には、近況のケースをお見せしながら報告し日中・夜間の活動やお暮らし状況を共有して頂くよう努めている。</li> </ul>		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族の協力を頂き、ご自宅に時々帰られている。</li> <li>・馴染みの方のご面会もあり、馴染みの人や場所の名前を出しながら、コミュニケーションを図っている。</li> </ul>	利用者との会話や家族からの情報を得ながら、馴染みの人や場所との関係継続の支援に努めている。家族の協力を得て、行きつけの美容院や商店、外食等に出かけている。また、時々自宅に帰る利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	・リビングでは、ご利用者様同士のコミュニケーションが円滑に進むよう、スタッフが間に入って、共通の話題を提供するなど考慮している。また混乱、トラブルを早く察知して増長しないように努めている。 ・リビングでの席の組み合わせも、状況の変化に応じて柔軟に配慮させて頂く。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	・他事業所に正確な情報を提供している。 ・都合により、他種施設に転居されても、時々面会に訪れ交流させていただいている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・園芸が好きな方には、時期に応じて、屋上や玄関前の花壇の手入れのお手伝いをして頂くなど、ご本人の思いや暮らし方の希望に、出来るだけ応えられるよう配慮している。 ・家事のお好きな方は、料理のお手伝いや、後片付けを出来る範囲でお願いしている。	職員は個別ケアを念頭に、利用者個々の生活歴や日々の関わりから、本人の出来る事はして貰う支援に心掛けている。利用者の希望や意向については、言葉や表情などから、その真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。余命も短いと医者から言われ、寝た切り状態で退院された利用者の「歩きたい」の思いの実現に全職員で取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・使い慣れた家具や服、食器等、アルバム等持ち込んで頂き、ご本人の心が安らぐ生活環境を整えられるように、ご家族と常に相談している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	・一人一人のその日の体調、心の状況などをしっかりと把握し、ケースに記録して全スタッフが確認できる様努めている。又、毎月のカンファレンスで取り上げ、現状で可能な支援に切り替えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>・毎月一回、ケアカンファを開催している。 ・通常三か月に一回のモニタリングを実施し、担当者がケアプラン案を作成している。ご本人、ご家族、スタッフ、看護師等の意見や要望を反映し作成している。カンファレシストを作成し、全スタッフが把握できるよう努めている。</p>	<p>担当職員がたたき台となる計画を作成し、本人・家族の意向や看護師、医師の意見を反映させながら、職員全員でカンファレンスを行い、介護計画を作成している。計画の進捗状況は職員が気付きをノートに記録し、職員全員で確認・共有し、次回の計画作成に活かしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>・個別ケース記録により情報を共有している。気付いた点があれば申し送りノートに提案等を記入し、スタッフ間の意見、希望を検討している。より良い方向で支援して頂けるよう努力している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>・ご本人、ご家族の希望、意向を伺い、出来る限り思いにお応え出来る様努めている。(例)理学療法士による訪問リハビリ週1回の実施している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>・散歩時に、ご近所の方と言葉を交わしたり、近くのお店から出前を取ったり、買い物に出掛けている。皆で協力しながら、夕食やおやつ作り等をして頂き、楽しく暮らして頂ける様努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>・受診時は必ずご家族に連絡、相談させて頂き、納得された上で受診している。・主治医以外に受診をする場合は、受診結果をご家族と主治医に速やかに報告し、より良い信頼関係の構築に努めている。・ご家族が遠方の方や、スタッフが付き添った方がよいと判断した場合はご家族に連絡の上受診対応させて頂いている。</p>	<p>利用者、家族の希望に添ったかかりつけ医へ受診している。受診介助は、基本的には家族にお願いしているが、状況に応じて事業所が対応し、受診内容を互いに報告・確認している。常時看護師を配置し、利用者の健康管理や医療との速やかな連携・調整を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師も、ご利用者とコミュニケーションをとり、状況把握に努めている。</li> <li>・毎日、健康観察報告書を確認し、情報の共有化を図っている。</li> <li>・看護師は、日中定期的に各ユニットに訪れ、状況確認に努めている。</li> </ul>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院時、マラーを作成し、情報提供している。また、スタッフがお見舞いに行き、ご本人の状況を把握するように努めている。治療方針、早期退院に向けて、情報交換している。</li> </ul>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看取りについて、ご家族やご本人へ当施設の方針を十分に説明し、ご理解いただいたうえで、同意書を頂いている。</li> <li>・主治医、ご家族の協力を頂いている。</li> </ul>	<p>入居時に、本人・家族に対し終末期には原則看取り対応は行わない旨を説明し、理解を頂いているが、長期入所家族からの要望があり過去に看取り体験がある。今後、終末期の方針を定め、家族と話し合いを行い、職員、医師等地域の関係者と共にチームで支援に取り組む姿勢がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルを作成し、全スタッフに応急処置、初期対応について細かく伝達している。・ご利用者の状態を日々観察し、特変があれば看護師へ報告している。必要があれば、主治医に相談指示を乞う。・安全衛生委員会（各ユニット1名）を毎月1回開催し、議題として取り上げ検討実践し、各ユニットにて共有している。</li> </ul>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、避難訓練を実施している。</li> <li>・21時以降調理をしていない。スタッフの喫煙も所定の場所以外は、禁止している。</li> <li>・定期的に機器の検査を業者に依頼している。</li> <li>・2ヶ月に1回の運営推進会議にて、地域の方に説明を行い、協力体制を構築するように努めている。</li> </ul>	<p>定期的に夜間も含めた避難訓練（消防署員立会いのもとでは年2回）を実施し、職員は利用者が避難できる方法を身につけている。また、運営推進会議でも防災や救命救急、備蓄品の勉強会を行なう等防災意識は高い。近隣住民とは身守り等の協力関係が出来ており、事業所は地域の避難場所として選定されている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	・不穩、拒否された時も、ご本人の思いを尊重し、無理強いないよう、傾聴や寄り添うよう心掛けている。又、成功した対応をケースに記入し、より良い対応が出来る様、スタッフ間で情報共有している。	職員のマナー教育については、事業所内研修や外部研修への参加等積極的に実施され、全職員の人格の尊重とプライバシーの確保に対する意識は高く、確認しながら日々のケアに取り組んでいる。また、「対応が良かった」事例を職員間で共有し、ケアに活かしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	・散歩、入浴時などご本人の希望や思いを伺い、出来る様声掛けをさせて頂いている。できるだけ希望が実現出来る様、努めさせて頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	・御利用者様の体調等に合わせて、ご本人の希望に、出来る限り添わせて頂ける様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	・ご利用者様の着たい服を選んで頂き、ソックスを付けて頂くなど、おしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	・お米とぎ、食材切り、皮むき、ホットプレートを使用した炒め物等お手伝い頂いている。又、下膳や盛り付け、お皿洗いなど個々の力に応じた役割分担を楽しみながら手伝って頂いている。	食事は利用者の声も反映された、栄養バランスに配慮された献立である。また時には、利用者と職員で育てている野菜を食卓に上げたり、おやつ作りをする等、会話も弾み食事が楽しいものとなっている。百歳を超える利用者が食事の献立を楽しそうに書いている姿が見受けられた。外食に出かける事もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	・食事量を毎食チェックし、摂取量が少ない方には捕食や、主治医相談の上エンシュアリキットを提供している。体調や体重に応じ食事量を個別化している。介助が必要な方には声掛け、皿の入れ替え等しながら介助している。・トロミやゼリー等形態を工夫している。水分出納帳をつけ水分量のチェックを行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	・毎食後、口腔ケアを徹底している。個々の能力に応じた声掛け、介助を行い自立や習慣化に努めている。個々の状態に応じて、歯間ブラシ、口腔用ウェットティッシュ、ポリテントを使用している。・訪問歯科の往診や歯科医の協力を得て、施設内研修を行いスキルアップに繋げている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄リズムを把握し、個々のリズムに合わせて誘導や声掛けを行っている。夜間も同様に、パット交換を行い、失敗なく清潔保持出来る様配慮している。誘導時は、必要に応じ最小限の支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、昼夜を問わず、可能な限りトイレ誘導を行う等、排泄の自立支援に努力している。また、トイレの誘導に当たっては、職員は看守りを大切にする支援と人格を尊重した言葉使いに配慮がなされている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便状況や量の記録やリズムを把握し、状況に応じて緩下剤の使用や調節を行っている。又、運動不足に注意し、散歩、廊下歩行、体操等チェック表をつけ、毎日を動かすよう配慮している。・食事内容にも配慮し、毎朝バナナヨーグルトを提供している。水分量も管理、把握している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	ご本人の希望や体調に考慮している。個々の状態に合わせた介助を行っている。歌や回想法(会話)を楽しんで頂いている。入浴時混乱のある方には、すぐに他のスタッフが応援、交替できるように準備している。入浴前後の水分補給も徹底している。	週2～3回は入浴できるよう支援しているが、毎日の入浴を希望する利用者にも柔軟に対応している。便失禁時はシャワー浴や入浴等速やかに対応し、清潔保持に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日中に体操やレクリエーション、個々の能力に応じた役割提供し活動的に過ごして頂いている。体調に考慮し、1時間程度の午睡を取って頂く等、生活にメリハリをつけている。夜間は、定期的に巡室し、好みに合わせた照明や湿度や寝具の調節を行っている。又、定期的にシーツ交換や清掃を行い清潔な状態を維持している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬一覧表を作成し、スタッフルームに貼付し、変更時に随時書き換えている。又、薬の変更があった際に、申し送りノート、ケース記録に記入し全スタッフが確認や把握できる様にしている。看護師との連携や薬剤情報提供書、内外研修により、薬の内容を把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	調理、裁縫、編み物、園芸、書写、買い物、洗濯干し、たたみ、食器洗い、お盆拭き等を日中に能力に応じて取り組んでいる。午前午後の合同レクリエーション(歌、体操、カルタ、風船ゲーム、クイズ、昔話等)をリビングにて行っている。聴力等の介護度に配慮し、全員が参加できるようにする。季節に応じた、行事を楽しんで頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩、買い物、水やり等本人の希望、気分転換、役割等動機付けを考えた声掛けで自主的に外出されるように働きかけている。家族会や誕生日会等を開催し、ホテル等での外食を楽しんで頂いている。テーブルコーディネート、食材調整、安全なトイレの確保に留意している。	事業所の一体が住宅街であり、日常的に散歩し、近隣の人たちと挨拶を交わしており、時には「お花をどうぞ」と声をかけられる事もある。利用者一人ひとりの希望を聴き、買い物や外食、屋上の花や野菜の水遣り等個別対応に努めている。また、誕生日を祝うホテルでの食事会やドライブに家族の協力を得ながら出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	認知症の進行により、関心が乏しくなったり、財布をどこにしまったか分からなくなり、混乱が激しくなる為、預らせて頂いている。探される場合には、その都度、落ち着くような声掛けを行っている。買物支援の為、5千から1万円程度、預り金にて金品の取り扱いを支援している。(おやつ、化粧品等)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	年賀状や暑中見舞いのハガキを手作りし、個々の能力に合わせて作成から投函までを支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関には季節に合わせた生花や飾りを置いている。リビングに季節に応じた壁画を月毎に作成している。毎月のカレンダーに、月に応じた歌を書写して頂き、掲示している。告知板をリビングに掲示し、月のイベント、誕生日等お知らせしている。廊下の壁にも、壁新聞や写真などを掲示している。	玄関ホールには、季節に合わせた飾りや生花等が置かれており、子供達や近隣の人たちが気軽に立ち寄っている。各ユニットは南向きで大変日当たりも良く、掃除も行き届き、清潔でゆったりとした明るいリビングである。また、ソファを置く等、利用者の誰もが一日中リビングで寛げるよう工夫がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個々の身体、精神状態に合わせた安全な空間が保たれる様、カンファレンスやスタッフミーティングで、しばしば検討して、リビングのレイアウトや席の配置を工夫している。席の配置変更がある場合は、申し送りをしっかり行い、ご入居様様が混乱されないよう配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今まで使用されていた調度品や思い出のある品を持って来て頂いている。各居室には、ご本人の手作りネームプレートを飾り馴染みのある空間で、過ごして頂ける様配慮している。各居室内には図工で作成した作品を飾っている。	全室、洗面台とクローゼットが完備され、カーテン、壁紙の色を居室毎に変えている。各居室には本人と家族が相談しながら、家具や写真等馴染みの物や使い慣れた物を持ち込み、本人が日々の生活で不自由を感じる事なく、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	バリアフリー、手すりの取り付け、トイレや居室が分かりやすいよう張り紙や目印になる物を貼っている。ご希望に合わせて畳に変更している。又、かまちで滑らないように滑り止めテープを貼付している。朝晩の混乱のある方は、居室の時計を24時間表示タイプに変更している。ポータブルトイレやキャスター付きシャワーチェアの使用している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 株) ビー・スマイル

作成日 平成27年10月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	看取りをするのに主治医の意見が異なり、重要事項に記入できず、過去の経験があるにもかかわらず看取り加算を取っていない。108歳、を筆頭に高齢化が進み、早急の課題である。	毎月1回開催されるスタッフ塾を利用し「看取りの知識」について再勉強する	体験者の意見を聞くスタッフの再勉強 マニュアルの検討および更新	27年後半から～8年度
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。